

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の共通理解と 全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したの になっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。 年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底してい る。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最 善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取 る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子 どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てる ようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・毎年、職員に方針や理念が記載されている冊子やハンドブックが配布され読み合わせをしている。 ・毎日振り返りの時間を設け明日の保育計画に反映させている。 ・週の予定を各クラス事務所のボードにて記載し全職員で把握できる様にし、保育に反映させている。 【課題・対策】 ・日々の振り返りや職員間での話し合いの時間が持てない日があるので、休憩の回し方を工夫したり小グループでの話し合いをし子どもの情 報を共有する場を設ける様にしている。			
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題 を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有す る。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共 有・交換のために保護者用アプリ『コードモン』の連絡ノート機能でコミュニケー ションを図っている。
	6	子どもの発達にや状況に応じて指導計画を作成し ているか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを 行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・前年度の担任から子どもの事や保護者の事等を引きついでいる。 ・新入園児面談については担当者と保護者が行いクラス担任に情報共有をしている。 ・横浜リハビリセンターと連携をとり、必要に応じて巡回相談に来て貰う。関わり方や対応等を学び活かしている。 ・入園前、入園後の離乳食面談を、施設長、給食スタッフ、担任を交えて行い、子どもの形状や家庭での様子を把握し食事を進めている。 【課題・対策】 ・前年度の園内会議で、新入園児の情報と在園児の引き継ぎを行い保育士間で情報共有をしっかりと行い指導計画に反映させていく。 ・クラス担任以外のスタッフが把握できるようにショートミーティングや、引き継ぎ表で子どもの情報が把握できる様にしていく。			
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がな されているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清 潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育など を取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・午睡明け、湿度に合わせて適度に換気を行っている。 ・毎日の掃除と室内やおもちゃの消毒を行い衛生面に配慮し、チェック表に記入している。 ・本園、分園があり、幼児クラスならではの活動や交流が行われる環境があるので良い。 ・子どもの成長発達に合わせて環境設定やおもちゃを見直している。 ・危険個所にクッションやヒヤリハットマークをつけ、安全対策を行っている。			
	【課題・対策】 ・定期的に玩具の入れ替えは行なっているが子どもの発達や安全面に配慮しながら玩具を充実させるようにしている。 ・片付ける場所を徹底出来るように、写真や文字を貼って子ども達が片付けやすいようにしてあげる。 ・加配児の対応はリハビリセンターや区役所等と連携を取り情報共有を行いベストな環境を提供出来る様に配慮する。			
一人一人の子どもに 個別に対応する 努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定 し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、 その記録があるか	A	成長発達記録・児童健康台帳等、必要書類をコードモン内に記録をし、全職員 で情報共有をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・配慮が必要な子の個人別月案もあり、職員会議や昼礼で情報共有をしている。 ・担任間でクラス会議を設け子どもの発達やそれに合わせた援助を考えている。 【課題・対策】 ・一人ひとりにのペースで生活出来る様に月齢や一人ひとりの発達に合わせた活動を提案し援助をしている。 ・出来る限り職員の配置を工夫し子ども一人ひとりに寄り添っていく。			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧に行っている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもわかるよう対応をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・配慮を必要とする子どもの情報共有が出来るように園内研修や昼礼等で周知している。 ・必要に応じて保護者との面談を行なっていく。 ・委託臨床心理士の先生に巡回に来て頂き個別配慮児のアドバイスを貰い関わっている。 ・アレルギー除去食はトレーに置き、ワゴン上段に置く。誤食が無いように受け取る際は、献立を見ながら保育士と給食スタッフ間で目視、口頭、指さし確認を行う。 ・アレルギー児献立表は全スタッフが確認できるように事務所やお部屋にある。また、昼礼や引き継ぎ表にて除去情報を共有している。			
【課題・対策】 ・アレルギー児の配膳は、誤食に繋がる可能性があるため、担任が必ず行う。他の保育士と献立表を見ながら目視、口頭で確認し、他の子どもより先に配膳していく。				
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコドモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・意見箱の設置をしている。 ・保護者からの意見や、要望は施設長に報告し個別で対応している。 ・行事ごとにアンケートを取り保護者の意見を参考にし次年度に活かしている。 ・年2回運営委員会を開催し保護者の意見を頂いている。			
【課題・対策】 ・保護者が意見が言いやすい雰囲気を作り日頃から保護者とのコミュニケーションを大切にする。対話の中で解決できるように問題が大きくなる段階で対応していく。				
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができていますか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・乳児クラスでも自分で玩具を取りだして遊べるように工夫している。 ・朝の会や帰りの会などで楽器を使用したり自由に表現ができるように楽器の出し入れができる環境を設定する。 ・ことばの森やダンスは無理強せず楽しさを一緒に感じながら行う。 ・定期的に遊びの内容や環境を振り返り月齢や状況に応じて変更している。			
【課題・対策】 ・絵描きリズムうたは日々の保育に導入したり子どもが興味を持てるような促し方を考えていき定着出来るようにしていく。 ・運動プログラムの活用方法を見直したり、子どもたちが楽しみながら体力強化ができるように努めていきたい。				

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコドモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養分の確認を絵本や表にし、食べる楽しみや食に興味を持てるようにしている。 ・給食スタッフと相談しながら、食育を進めている。(年齢に応じた物) ・年長児クラスは季節の野菜を育て成長した野菜をスケッチしたりし生育を楽しみにする、収穫後は食育をおこなっている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食スタッフが各クラスを巡回し喫食状況を把握している。残量が多い場合はなぜか？昼礼等で話し合い形状を確認したり改善策を練る。 				
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	児童健康台帳に、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症が出た際は、掲示やコドモンにて配信し、保護者が周知出来る様に配慮している。 ・感染症が流行した際は、職員間で消毒の徹底や各クラスにてマニュアルの手順書を再確認する。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症マニュアル研修を定期的に行い、事務室やお部屋に掲示し周知しやすい場所に掲示しておく。 			
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生係の職員を配置し、衛生品に関して管理されており、節約も心がける。 ・職員トイレの掃除を当番制で回し常に綺麗に使用している。 ・各保育室やトイレ等にチェック表を張り出し日々清潔な状態が保てるようにしている。 ・感染症が流行している際は消毒や清潔をより丁寧に行なっている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流行の時期に関わらず清潔に保つ事で快適に過ごす事ができる。 			
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラを設置している ・避難場所を玄関に掲示している ・不審者訓練は他園に依頼し、本園、分園で不審者侵入を想定し行う。不審者侵入時の合言葉で全体に周知している ・事務室に緊急対応時の動きを掲示しスムーズに対応ができる様に日頃からシミュレーションを行う。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園会議で事故報告の振り返りや、事例を用いて研修を行い事故防止に努めている。 ・インターホン対応の際、すぐに鍵をあけるのではなく、確認してから開けるようにする 				

項目	番号	内容	評価	実施していること
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合って決めている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉かけ研修を取り入れ、否定的な言葉使わない様心がける。気になる職員には声を掛け合っていく。 国籍の違う子に対する対応を絵カード等を用いたりし、個別対応をしている。保護者との面談は通訳の方を交えて行なっている。 国籍や文化の違いを認めながら、園生活が送れるように寄り添っていく。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉が通じない為コミュニケーションが取りづらい。通訳の方を要請し年2回程面談を行い、双方の理解を得ることが出来る様になった。 園内研修やミーティングで言葉かけの研修を行なった。丁寧な言葉を使うように意識する事によって子どもに対して否定語が軽減できた。 				
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1～2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> パパママ保育を実施し保育士と保護者が共有できる場を設けている。 子どもの様子で気になる事があれば園側からも保護者に声をかけている。 市町村や関係機関と保護者の情報を共有したり、また、必要に応じて面談を行なっている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者支援に繋がる活動を取り入れた内容を検討し出来る事から始めて行くようにする。 			
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日(要予約)を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようになっている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本の貸出し育児相談等を行なっている。 夏祭りのポスターを町内会の掲示板に貼っている。 区の子育て支援イベント(わくわく広場)に参加している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者支援に繋がる活動を取りいれたいけるような内容を検討し保護者支援に力をいれお互いの関係を密にしていきたい。 			
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣保育園との交流会に参加している。 月2～3回園見学会を開催している。 地域のグループホーム慰問を実施している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事の周知が余りされていないので町内会の掲示板に掲示させて頂き、地域の方の参加を呼び掛けている。 			
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習日誌を元に振り返りや質疑応答の時間を確保し指導している。 実習生が安心して学べる環境、雰囲気作りをしている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習生指導は的確に行うなかで心のケアも丁寧にしていく。 			

項目	番号	内容	評価	実施していること
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ipatを活用し姉妹園と共有出来るシステムの中で遊びやダンス、体操等を取り入れている。 ・新入社員の育成担当を決め育成シートやウエルカムチェックを用いながら、伝えていく。 ・専門リーダー研修を、会議等にいられて、職員に共有している。 <p>【課題・対策】</p>			
職員の議事術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が意見交換が行えるように振り返りを複数名で行なっている。 ・他のクラス担任とも情報共有出来るように、他クラス会議にも参加出来る様な体制をつくっている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体会議ではなかなか発言しづらい人もいるので、まずは小グループで発言できるようにしその後全体の意見を取り入れて行きたい。 			
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回発行される運営要項の読み合わせやGニュースを回覧し最新情報を共有しあっている。 ・全スタッフに配布されているハンドブックに記載されている内容を全体会議等で周知している。 ・施設長会議後の連絡事項を昼礼等で伝えている。 ・初出勤の際、ウエルカムチェックを行い、守秘義務の事やマニュアルの読み合わせをしている。 <p>課題・対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新情報を共有していく中でスタッフが安心して働けるよう環境に配慮していく。 			